*イエスが御一人でゲツセマネの園に行かれたとき，*
*キリストの弟子たちは近くで待っていましたが，すぐに眠ってしまいました。*
*イエスは，「三度目にきて言われた，『まだ眠っているのか，休んでいるのか。*
*もうそれでよかろう。時がきた。見よ，人の子は罪人らの手に渡されるのだ。』」*
*（マルコ 14：41）*

*ゲツセマネ（上）とゴルゴタ（下）で，*
*イエス・キリストは血を流され，*
*十字架でお亡くなりになりました。*
*主は世の罪を贖われ，*
*わたしたちを堕落から贖ってくださいました。*

右――「ピエタ」［訳注――イタリア語で「哀れみ，慈悲」の意。亡くなられたイエスを抱くマリヤの絵や彫刻を指す］アンゼム・フリードリッヒ・フェウアバッハ画 © SUPERSTOCK
上――「おお，わたしの御父よ」サイモン・デュー画。左――「十字架」© BALAGE BALOGH/ART RESOURCE, NY。左端――「休んでいるのか」ウォルター・レーン画

*イエス・キリストの体は*
*園の墓に*
*安置されました。*

皆さんもわたしとともに贖いについて正しく確かな知識を得てください。

わたしたちは人の哲学や賢者の知恵を捨て，わたしたちをあらゆる真理に導くために与えられた御霊に耳を傾けなければなりません。

また聖文を研究し，それを主の御旨（みむね），御心（みこころ），御声（みこえ）として，また救いに至らせる神の御力（みちから）として受け入れる必要があります。

聖文を読み，深く考え，祈るとき，わたしたちの心の中に神の３つの園が見えてきます。エデンの園，ゲツセマネの園，そしてイエスがマグダラのマリヤに御姿（みすがた）を現された，空になっていた墓のある園です。

エデンでわたしたちは，万物がパラダイスの状態に創造されたことを知ります。そこでは，死も，子供をもうけることもなく，試しの経験もありません。

そしてこの創造が，まだ人には知られていませんが，堕落をもたらすための唯一の方法であったことが分かるようになります。

そして，最初の男性と女性であったアダムとエバが不死不滅とパラダイスの栄光から降りて，この地上において死すべき肉体を持った最初の人間となったことを理解します。

子供をもうける力と死を伴う肉体がこの世にもたらされたのです。そして背きにより，試練と試しの状態が始まります。

その後ゲツセマネで，神の御子が，堕落によってもたらされた霊と肉体の死から人をお救いになるのを目（ま）の当たりにします。

そして最後に，空になった墓の前で，わたしたちの主であられるキリストが死の縄目を断ち切り，墓に対して永遠の勝利を収められることを知るのです。